

## ◆ 部門活動紹介

### 地域活動推進部門

地域活動推進部門の役割は、それぞれの会員 NPO が、同地域の他の NPO、全国の NPO、地域の自治体や有識者、企業などと連携をとってゆくよう推進・支援活動をすることです。本部門の報告は数か月に一度となります。今回からしばらくは、会員 NPO に対して実施させていただいた、連携に関するアンケートの結果の一部を紹介し、その内容に関連して考えてみたいと思います。



今回はその 1 回目となります。同地域の他の NPO との連携の必要性についてアンケート結果をご紹介し、その内容について考えます。回答結果からは 86% の NPO が同じ地域の NPO との連携を、また、72% の NPO は他の地域の NPO との連携を、それぞれ「必要」あるいは「試行の価値あり」と回答しています。自由記述からは、お互いの活動内容を知ること、情報交換をすること、そのような活動を通して、協力して広報活動を行うこと、中央省庁、地方自治体や関連学会などへの提言・提案および協働を議論することが重要であると、えられていることがうかがえます。

一方、「活動の方向性が同じであれば連携してみる価値がある。」という意見もあります。この言葉の意味を少し考えてみたいと思います。「活動の方向性」には「活動の内容」という意味と、「活動の志向性」あるいは「参加者の志」という意味があるでしょう。例えば、我が国のインフラは、新設の時代から維持管理更新の時代へと移っていますが、単に「自治体インフラメンテ」が大事だからと、「活動の内容」が一致しているだけでは、強力で持続可能な連携にはなりにくいのではないかと思います。各 NPO のもともとの成り立ちは、職場を同じくした方々が集った、退職前から委員会などの活動を通じて志を共有してきたなど、「活動の志向性」あるいは「参加者の志」についての共通性が高い場合が多いのではないのでしょうか？したがって、特定の課題に関して、その「活動の内容」が共通であるという理由で連携を目指す場合、「志向性を確認し合う過程」が大変大切となります。地域活動の推進に当たっては、このような視点を大事にしてゆきたいと思っています。

なお、本部門では、土木学会のシビル NPO 推進小委員会（駒田智久委員長）と協力して「自治体インフラメンテ調査・研究会」（仮称）を発足するため、準備活動を開始しました。ご興味のある会員からの積極的な参画を期待しています。どうぞ、ご連絡をくださいませ。

連絡先は（minatororo@gmail.com 皆川勝）です。

平成 26 年 10 月